

令和4年度第3回 感染症発生動向調査部会

令和4年6月15日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2022年第18週～21週・5月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は17例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：94.6%，2019年比：65.6%）。高齢者および若年層の2峰性分布に変化はなかった。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、6例（O157：1例，O26：4例，不明：1例）報告された（前年比：233.3%，2019年比：29.2%）
- 四類感染症の報告は全てレジオネラ症（12例）で、毎週コンスタントに報告された（前年比：114.3%，2019年比：106.7%）
- 五類感染症
  - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は1例報告された（前年比：47.1%，2019年比：25.8%）
  - ✓ 梅毒は9例毎週コンスタントに報告された（前年比：133.3%，2019年比：102.9%）。全て男性であった。
- 新型インフルエンザ等感染症
  - ✓ 新型コロナウイルス感染症は、14177例報告された。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
  - ✓ RSウイルス感染症（前月比：167.0%，2019年比：469.0%）
  - ✓ 咽頭結膜熱（前月比：142.3%，2019年比：46.8%）
  - ✓ 水痘（前月比：233.3%，2019年比：22.3%）——報告数は少ない
  - ✓ 手足口病（前月比：266.7%，2019年比：39.4%）——報告数は少ない
- 前月と比較し横ばいにある疾患
  - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：118.8%，2019年比：100.7%）
  - ✓ 突発性発しん（前月比：102.3%，2019年比：72.3%）

2 情報提供（月番委員専門分野から）

第58回日本眼感染症学会（2022/7/8-10：於広島）

3 その他（感染症対策推進課から）

- サル痘に関する情報提供及び協力依頼について
- 成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究について（協力 依頼）
- ハンセン病のパネル展の開催について

---

<検討結果>